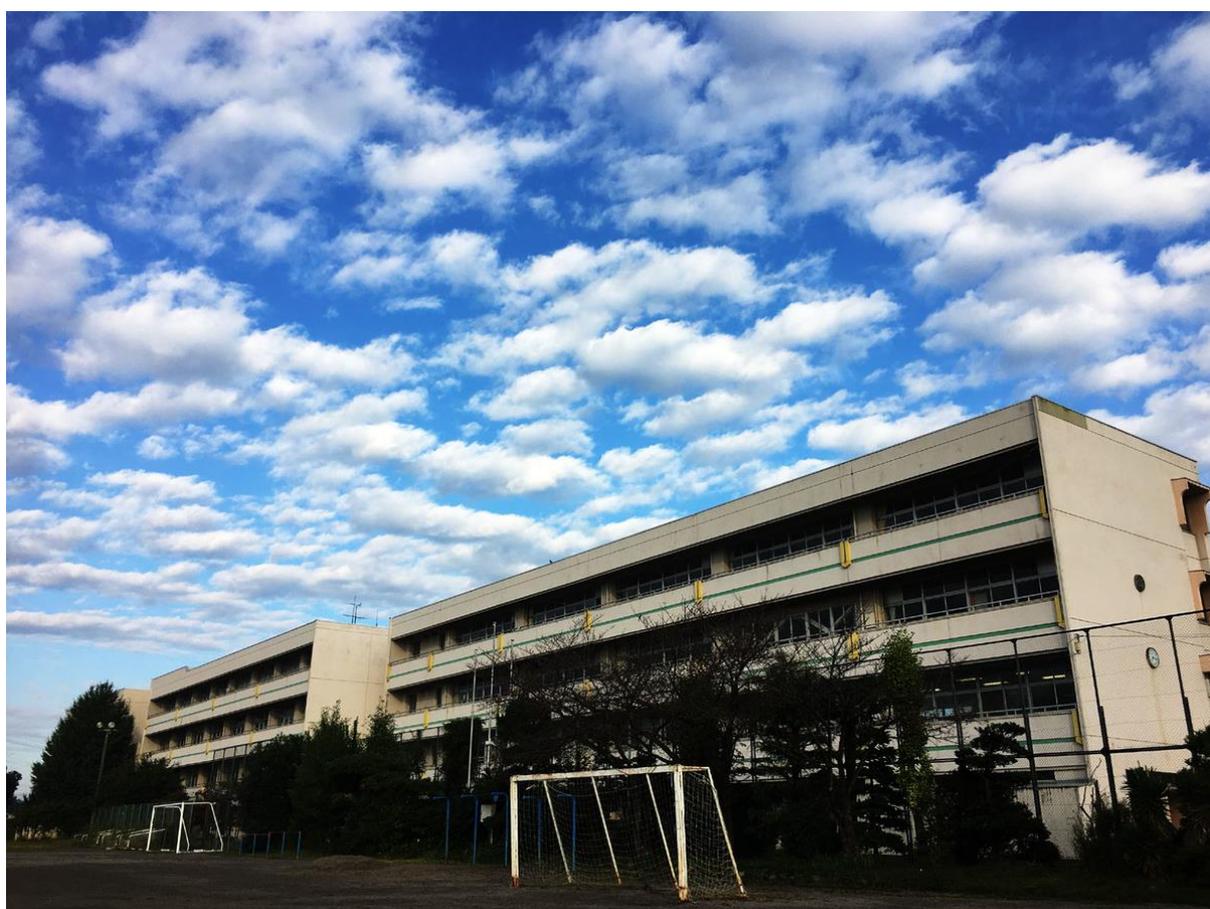


# 見沼中学校区義務教育学校 設立に向けたガイドブック

Ver. 1



令和2年10月

行田市教育委員会

# 義務教育学校

## 現在の小中学校



・小学生と中学生は、それぞれ別の学校で過ごします。

## 義務教育学校(施設一体型)

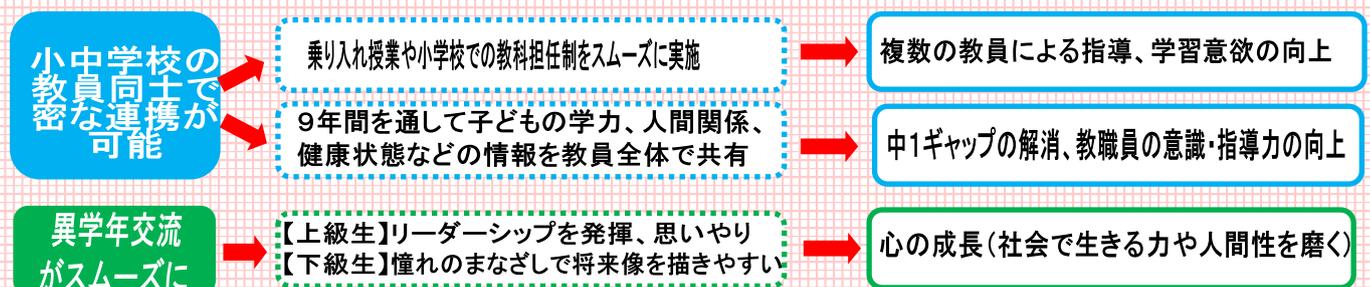


・小1で入学し、中3で卒業するまで、9学年が同じ校舎で一緒に過ごします。

## 義務教育学校の特徴

1. 小・中学校が目指す子ども像を共有し、9年間一貫した系統的な教育課程を編成・実施することができます。
2. 小・中学校の教員組織が一体となることから、児童生徒に関する共通理解が十分に図られ、小中学校の接続の円滑化を図ることができます。
3. 子供たちの学びと心身の発達に応じて、「4-3-2制」や「5-4制」と柔軟な区切りを設定することができます。
4. 持続可能な地域の将来を見据えた教育課程（みぬまグローバル科など）の開発・実践に取り組むことができます。

## 施設一体型の義務教育学校だとこんなメリットが…



## 目指す学校像

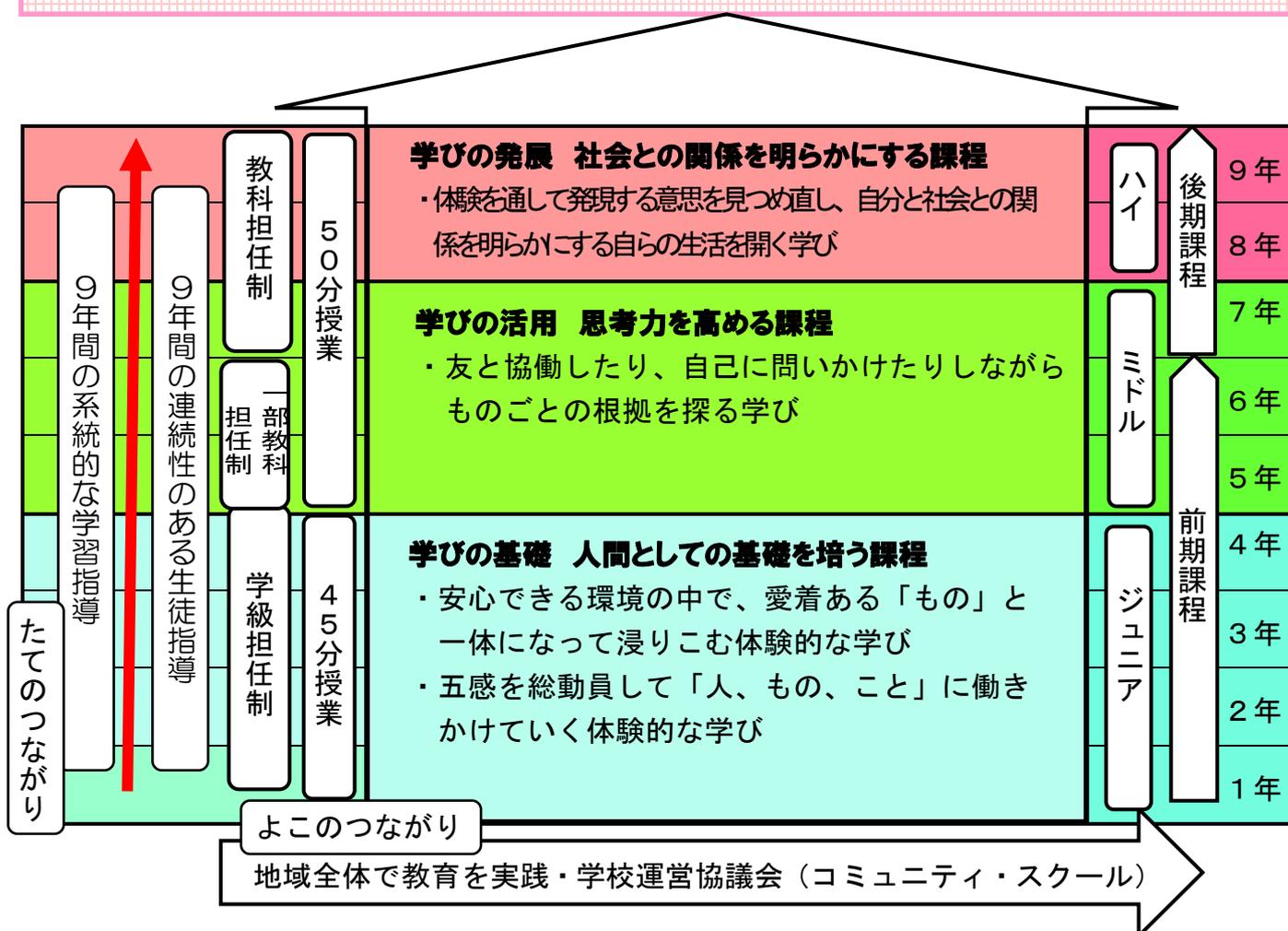
志高く他者と協働しながら、  
たくましく未来をひらく人間の育成  
『自分に問う』

## 目指す児童生徒像

高い志を持って学び、自ら課題を解決していく力（質の高い学力）

多様性を理解し、他者と協働できる力（豊かな人間性、社会性）

強い意志を持って、最後までやり抜く力（意欲や情熱、健康な体）



## 特色ある教育

### ①みぬまグローバル科の創設

目標 ～「持続可能な社会の創り手」の育成

身近な社会（ローカル）から世界的視野（グローバル） ～

- 総合的な学習の時間を軸として探求的、協働的な学習
- SDGs（持続可能な開発目標）の視点を取り入れた学習課題を設定
- NPO、企業、研究機関、地域、行政等との連携



### ②外国語活動、外国語の充実

目標 英語力、英語を活用した実践的なコミュニケーション力の育成

- 5・6年生から英語の教員免許を持った教員による教科担任制の実施
- 専属ALTの常駐による日常的に英語に触れる機会の創出
- 英検j r. や英語検定合格に向けた取組や指導  
(放課後補習、ALTによる二次試験対策等)



### ③異学年交流の充実

目標 児童生徒会活動やブロックでの活動を基盤として、多様なグループを体験することによるリーダー性やフォロワー性の育成

- 行事等におけるリーダー学年の設定と上級生によるフォローアップ  
(1年生を迎える会 リーダー学年4年生、フォローアップ5・6年生)
- 児童生徒会における自治活動や交流給食等の日常的な交流の実施
- 全校徒歩遠足などの1年生から9年生まで全ての児童生徒で行う交流活動

### ④小規模特任校制度の活用

目標 制度の活用による小規模校の教育活動の活性化を図る

- 見沼中学校区義務教育学校での教育を受けさせたいと考える市内の家庭からの受け入れ

- Q1 義務教育学校はどのような学校ですか。
- Q2 前期課程、後期課程とはなんですか。
- Q3 校舎内の配置を教えてください。
- Q4 学校の1日の流れ(日課表)を教えてください。
- Q5 どのような授業がありますか。
- Q6 どのような行事がありますか。
- Q7 異学年交流はどのようなことをするのですか。
- Q8 宿泊を伴う行事は何年生にありますか。
- Q9 前期課程の卒業式や後期課程の入学式はありますか。
- Q10 制服はいつから着用となりますか。
- Q11 クラブ、委員会活動は何年生から開始するのですか。
- Q12 部活動は何年生から参加できますか。
- Q13 どのような部活動があるのですか。
- Q14 通学方法を教えてください。
- Q15 小中一貫教育は行田市全体で進めていくのか。
- Q16 埼玉県、全国に義務教育学校は何校くらいあるのか。
- Q17 普通の小学校、中学校と勉強する内容は違うのか。
- Q18 転校する場合に影響はあるのか。
- Q19 増築から改修に変更になった経緯は。
- Q20 10年で廃校になるのか。
- Q21 今、小学校にいる先生と一緒に義務教育学校に行けるのか。
- Q22 5～6年生が部活動に体験入部した場合、試合に出られるのか。
- Q23 乗り入れ授業とはなにか。
- Q24 今着ているジャージは着続けても良いのか。
- Q25 小学生のプールはどうするのか。

**Q1 義務教育学校はどのような学校ですか。**

義務教育の子どもたちが、同じ校舎で一緒に生活をする学校です。

9年間を系統的な教育課程とすることで、小中学校の段差をなくし、成長段階に応じた学習支援や生活指導が可能となります。異学年交流や小学校段階から教科担任制を導入するなど義務教育学校の特色を活かした活動を進めます。

**Q2 前期課程、後期課程とはなんですか。**

義務教育学校では、小学校・中学校という区分がなく、9年制の学校になります。

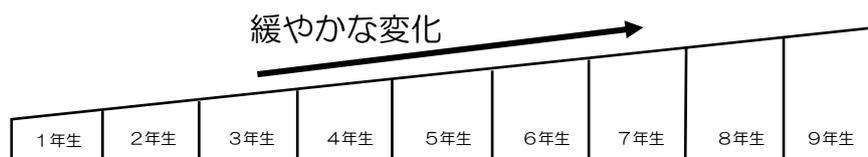
1年生～6年生が小学校に相当する前期課程に区分され、7年生～9年生が中学校に相当する後期課程に区分されます。前期課程は小学校の学習指導要領を、後期課程は中学校の学習指導要領をそれぞれ準用していますので、学習内容は従来の小学校・中学校と変わりません。

学年の区分を4-3-2制（1～4年生、5～7年生、8～9年生）と分けることにより、5～6年生の段階から中学校を見据えた一部教科担任制を導入し、7年生に繋げていきます。従来の小中学校では、小学校から中学校に進学した時の環境の変化が原因で学校生活に馴染めなくなること（中1ギャップ）が問題になっていますが、義務教育学校ではこうした取り組みにより7年生進級時の環境の変化を最小限にすることでの解消を図っています。

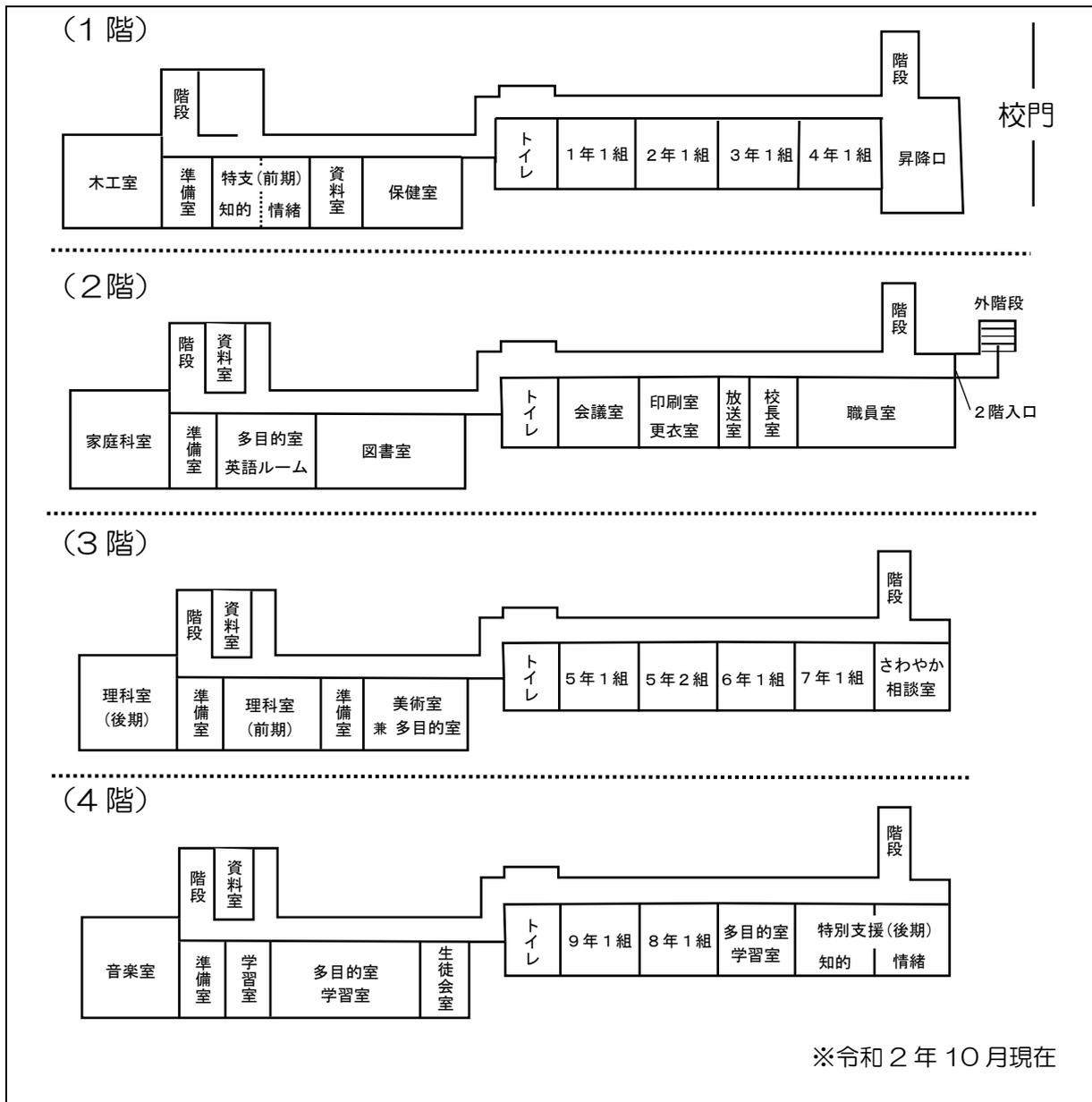
○従来の小中学校



○義務教育学校



**Q3 校舎内の配置を教えてください。**



●小中学生が一緒に過ごすための学校施設として、子供たちの安全確保を第一に、また小中一貫教育を推進するための教室配置を検討しました

1 普通教室

- 4-3-2の学年区分のまとまりでフロアを分けて普通教室を配置（10学級）します
- 教科書の持ち帰りを最小限にする「置き勉」のため各室のロッカーを改修します
- 特別支援学級：小中それぞれ知的及び情緒の種別ごとに確保します
- 明るい雰囲気のある教室にリニューアルします

## 2 特別教室

- 小中共用とし小学生の体格にも対応できる設備の改修を行います
- 教科ごとの使用のほか、異学年交流やグループ学習などができる多目的室としての改修も行います

## 3 屋内運動場

- アリーナには小学生用の器具（バスケットゴールなど）を設置します
- 大人数での異学年交流、地域交流のための多目的スペースとして活用します
- 校舎 1 階や校庭へのアプローチを整備し、出入口にはスロープを設けます
- 建築時のままのトイレをリニューアルします

## 4 プール

- プールフロア（底に沈めて水深を浅くする台）を設置し、小学生が使用する際の安全を確保します

## 5 校庭

- 校舎から近い位置に小学生用の遊具を設置するとともに、運動場との間に安全確保のためのフェンスを設けます

## 6 その他

- 児童生徒用の昇降口にスロープを設けます
- 小学 1 年生から 4 年生の教室がある 1 階のトイレは、小さい子も利用できるよう便器や手洗いの高さに配慮します
- 各階すべての階段に、両側に手すりを設置します
- 通学手段（徒歩、自転車、スクールバス）の違いによる児童生徒の登下校時の動線を工夫し安全を確保します
- 必要な定員の学童保育室を設置します

**Q4** 学校の1日の流れ（日課表）を教えてください。

通常日課	ジュニア（1～4）	ミドル（5～7）	ハイ（8・9）
朝練習			7:35～8:00
朝の活動	8:10～8:25（朝活動・朝読書）		
朝の会	8:25～8:35		
1校時	8:40～		
2校時	9:35～10:20	9:40～10:30	
業間	10:20～10:45	10:30～10:45	
3校時	10:45～		
4校時	11:40～12:25	11:45～12:35	
給食	12:25～13:05	12:35～13:05	
昼休み	13:05～13:30		
清掃	13:35～13:50		
5校時	13:55～14:40	13:55～14:45	
5校時後の帰りの会	14:40～14:50		
6校時	14:55～15:35	14:55～15:45	
帰りの会	15:35～15:45	15:45～15:50	

※ジュニアは45分授業、ミドルの5・6年生は45分授業+5分の学力向上タイムを設定

**Q5** どのような授業がありますか。

- 1・2年生・・・国語（書写）、算数、生活科、音楽、図工、体育、英語活動、特別の教科道徳、学級活動
- 3年生・・・・・・国語（書写）、社会、算数、理科、音楽、図工、体育、英語活動、総合的な学習の時間（みぬまグローバル科）、特別の教科道徳、学級活動
- 4年生・・・・・・国語（書写）、社会、算数、理科、音楽、図工、体育、英語活動、総合的な学習の時間（みぬまグローバル科）、特別の教科道徳、学級活動、クラブ活動
- 5・6年生・・・国語（書写）、社会、算数、理科、音楽、図工、体育、英語、総合的な学習の時間（みぬまグローバル科）、特別の教科道徳、学級活動、クラブ活動、委員会活動

7・8・9年生・国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、技術・家庭、保健体育、総合的な学習の時間（みぬまグローバル科）、特別の教科道徳、学級活動、委員会活動

**Q6** どのような行事がありますか。

主な行事を紹介します。

	行事名	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4月	始業式		○	○	○	○	○		○	○
	入学式・後期課程進級式	○						○		
	1年生を迎える会	○	○	○	●	○	○	○	○	○
5月	遠足	○	●	○	●	○	●			
	運動会・体育祭	○	○	○	●	○	○	●	○	●
6月	後期修学旅行									○
	校外学習							○	○	
7月	終業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月	始業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	サマーキャンプ					○				
10月	連合運動会						○			
	前期修学旅行						○			
	音楽会	○	○	○	○	○	○	○	○	●
11月	全校徒歩遠足	○	○	○	●	○	○	●	○	○
12月	終業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月	始業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職場体験学習						○		○	
	スキー教室							○		
3月	9年生を送る会	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	前期課程修了式・卒業式						○			○
	立志式				○					
	修了式	○	○	○	○	○	○	○	○	

●リーダー学年 上位学年はフォローアップ

※フォローアップとは、リーダー学年が円滑に運営できるよう、補佐し援助する活動

**Q7 異学年交流はどのようなことをするのですか。**

協働の学びの土台として、リーダーとフォロワーの立場を明確にしながら活動を進め、より深い人間関係の構築を目指していきます。様々な場面で異学年グループ、同学年グループなど多様なグループをつくって、活動を進めていきます。さらに、グループのメンバーを定期的にチェンジするなど、より多くの子供たちと接する機会を作っていきます。

また、異学年交流によって、下級生は上級生に憧れをもち、上級生は下級生の手本となって導こうとする互恵的で豊かな関係を育んでいきます。

リーダー：集団の中心となって、活動の企画や運営をする人

フォロワー：リーダーを支えながら、ともに活動を創る人

学校行事における交流例

時期	行事	リーダー学年
4月	1年生を迎える会	4年生
10月	学習発表会	4・7・9年生
11月	徒歩遠足	2・4・6・9年生
3月	9年生を送る会	8年生

授業における交流例

国語	上級生から下級生におすすめの本を紹介する取組
みぬまグローカル科	学習の調査活動や成果発表会において、下級生にわかりやすく伝える取組
体育	縦割り体育の取組

特活・日常生活等における交流例

交流給食	異学年交流による給食
縦割り清掃	縦割りの小グループによる清掃活動
音楽集会	縦割りによる教え合い活動
ブロック集会	各ブロックによる様々な集会への取組

**Q8 宿泊を伴う行事は何年生にありますか。**

- ・サマーキャンプ 5年生（1泊2日）
- ・前期修学旅行 6年生（1泊2日）
- ・スキー教室 7年生（2泊3日）
- ・後期修学旅行 9年生（2泊3日）

**Q9 前期課程の卒業式や後期課程の入学式はありますか。**

節目の行事は重要であると考えていますので、小学校に相当する前期課程が修了した時の修了式、中学校に相当する後期課程を開始する時の進級式を実施します。

**Q10 制服はいつから着用となりますか。**

制服の着用は、後期課程である7年生進級からになります。

**Q11 クラブ、委員会活動は何年生から開始するのですか。**

クラブ活動は4年生から開始し、6年生まで実施します。  
委員会活動は、5年生から9年生まで実施します。

**Q12 部活動は何年生から参加できますか。**

部活動は後期課程は原則全員参加となります。また、前期課程の5・6年生は大会には参加できませんが、部活動に参加できます。早い時期から競技を始めることにより、技能の向上を図ります。

**Q13 どのような部活動があるのですか。**

運動部：野球部、男女ソフトテニス部、男女バスケットボール部、  
女子バレー部  
文化部：美術部、合唱部 (R2現在)

**Q14 通学方法を教えてください。**

前期課程は、徒歩及びスクールバスになりますが、後期課程生徒は、自転車で通学することになります。

なお、スクールバスの利用基準は、通学距離が概ね2kmとしますが、通学アンケートの意見を基に、1人での徒歩の距離が長くなる場合や新しく通学路となる部分において安全対策が図れない場合は、スクールバスの利用について、協議していきます。

併せて、北河原地区の後期課程生徒についても、協議していきます。

**Q15 小中一貫教育は行田市全体で進めていくのか。**

小中一貫教育については、今後、市全体で進めていきます。小中一貫教育を推進していくためには、施設一体型の義務教育学校が最も効果が期待できると考えています。見沼中学校区以外の既存施設では、学区内の児童・生徒分の教室を確保できない制約がありますが、義務教育学校を目指します。

**Q16 埼玉県、全国に義務教育学校は何校くらいあるのか。**

埼玉県内には1校です。全国では、最新の情報（令和2年度学校基本調査速報値）で、126校です。

**Q17 普通の小学校、中学校と勉強する内容は違うのか。**

小学校には小学校学習指導要領、中学校には中学校学習指導要領がありますが、義務教育学校の場合は、前期課程（1～6年生）は小学校学習指導要領、後期課程（7～9年生）は中学校学習指導要領を準用することになります。

そのため、小学校と義務教育学校前期課程、中学校と義務教育学校後期課程では、勉強する内容は同じです。教科書も行田市内で共通のものを使用します。

**Q18 転校する場合に影響はあるのか。**

勉強する内容は同じなので、通常の転校と変わりません。なお、中学校進学時に学区外の中学校に進学（義務教育学校7年生進級時に転校）する場合も、義務教育学校の前期課程修了が小学校卒業に相当しますので、通常の進学と変わりません。

**Q19 増築から改修に変更になった経緯は。**

計画当初は、その時点の児童・生徒数を基に9学年で12クラスを想定しており、教室数が不足するため、増築として計画していました。その後、令和2年度の中学校への進学状況などを基にクラス数を見直したところ、10クラスとなり、既存の校舎の配置を工夫することで対応できる見込みになり、改修に変更することになりました。

**Q20 10年で廃校になるのか。**

計画上では、10年後に北部地域全体での義務教育学校の開校を計画しております。その際には見沼中学校区で実施する小中一貫教育の取り組みを土台とし、併せて学校規模の適正化を図る事が出来ると考えております。開校時期については、児童生徒数の推移を踏まえ、その都度、子どもたちにとってよりよい教育環境を確保するために、協議してまいりたいと考えています。

**Q21 今、小学校にいる先生と一緒に義務教育学校に行けるのか。**

全ての先生と一緒に義務教育学校に行けるわけではありませんが、児童が義務教育学校開校時に不安にならないように、今の小学校にいる先生が誰もいなくなることはないよう人事配置を考えております。

**Q22 5～6年生が部活動に体験入部した場合、試合に出られるのか。**

大会などの中学生の公式試合は、5～6年生は出ることはできません。練習試合などの非公式試合は、相手の学校が了解してもらえれば、参加することができます。

**Q23 乗り入れ授業とはなにか。**

普段中学生の授業をしている先生が小学生に対して授業をすることです。また、小学生の授業をしている先生が中学生に対して授業をすることです。

**Q24 今着ているジャージは着続けても良いのか。**

義務教育学校1～9年生が着るジャージを新たに指定しますが、当分の間は、現在のジャージを着続ける事ができます。

**Q25 小学生のプールはどうするのか。**

プールフロア（底に沈めて水深を浅くする台）を設置し、小学生が使用する際の安全を確保します。なお、全市的にプールの老朽化は課題になっているため、今後は水泳教育のあり方を含め検討を進めていきます。

## 見沼中学校区における義務教育学校設立に向けた経緯

### 【行田市における小中一貫教育の推進】

#### 1 行田市の課題

- ① 学習意欲の低下
- ② 不登校者数の増加

※ いずれも中学校進学後に増加しており、小中の指導方法の違いや、学級・部活動など生活面での人間関係の変化が大きく（中 1 ギャップ）、心理的不安が増すことが要因と認識しています。

#### 2 中学校区での研究委嘱

H28・H29 埼玉中学校区、太田中学校区

H29・H30 見沼中学校区

H30・H31 南河原中学校区

※ 学力向上や中学進学不安緩和などの成果が見られた一方で、相互乗り入れ授業や交流事業などを継続的に実施するうえで、教職員のマンパワーや人の移動に関する時間と場所の制約が課題として挙げられました。

#### 3 「行田市小中一貫教育基本方針」策定（H31.3月）

※ 既存の学校施設を活用して、行田市全体として小中一貫教育を推進することとし、学校再編に伴い施設一体型の義務教育学校の実現が可能な中学校区は設置の準備を進めることとしています。

### 【見沼中学校区における学校再編成について】

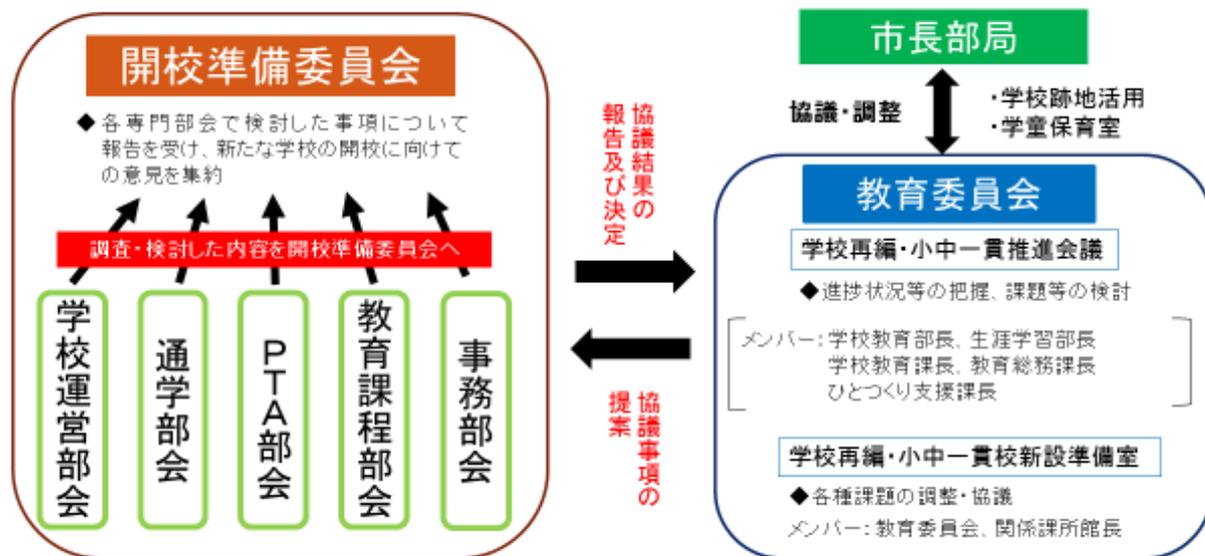
#### 1 「行田市公立学校適正規模・適正配置の基本方針及び再編成計画」策定（H31.3月）

※ 行田市全体の将来的な適正規模・適正配置の基本方針を示すとともに、過小規模校の解消・回避のための短期間での再編成を計画しました。

※ 見沼中学校区においては、北河原小、荒木小、須加小を再編成しても多くの学年が単学級編制となること、また進学先である見沼中においても学校規模から、現状では全ての教科の県費負担教員配置が不可能であるなど、施設分離型での小中一貫教育を実施するには、他の中学校区と比較しても条件面で不利な状況にあります。

そのため、教員配置の改善や小中の相互乗り入れ授業、交流を通じた学力向上、中 1 ギャップの解消などが期待できる施設一体型の義務教育学校を目指すこととしたものです。

### 義務教育学校開校に向けた組織体制



## 開校準備委員会と各専門部会の役割

### 開校準備委員会

- ◆各専門部会で検討した事項について報告を受け、新たな学校の開校に向けて意見を集約していただきます。

#### 開催状況

- ①令和元年11月12日
- ②令和2年1月14日
- ③令和2年6月27日

### 学校運営部会

- ◆校名、校歌、校章等に関する事
- ◆体操服等に関する事
- ◆閉校及び開校に係る記念事業に関する事
- ◆その他、学校運営に属する事

#### 開催状況

- ①令和元年12月11日
- ②令和2年1月8日
- ③令和2年2月12日
- ④令和2年6月10日

## 開校準備委員会と各専門部会の役割

### 通学部会

- ◆通学路、通学方法、安全対策、スクールバスの運行計画(対象者、停留所、運行ルート)等

### 開催状況

- ①令和元年12月18日 ④令和2年6月17日
- ②令和2年1月15日 ⑤令和2年7月15日
- ③令和2年2月26日 ⑥令和2年8月21日

### PTA部会

- ◆PTA組織や運営に関して
- ◆PTA行事について
- ◆役員選出について など

### 開催状況

- ①令和元年12月17日 ④令和2年7月21日
- ②令和2年1月21日 ⑤令和2年8月18日
- ③令和2年6月16日 ⑥令和2年9月15日

## 開校準備委員会と各専門部会の検討経過

- 校名** 見沼さくら小中学校(最終候補)  
※今後条例改正を経て、確定します。
- 校歌** 候補者を抽出中
- 校章** 令和2年12月ころからデザインを公募予定
- 体操服** 保護者投票を実施し、決定
  - ・ジャージ:令和2年11月～12月
  - ・半袖体操着・ハーフパンツ  
:令和3年2～3月

- 通学路・安全対策** 危険箇所を抽出中
- 通学方法** 小学生:徒歩、スクールバス  
中学生:自転車
- スクールバスの運行計画**  
利用基準は概ね2kmとした素案を作成中  
今後保護者アンケートを実施予定
- 閉校及び開校に係る記念事業**  
実行委員会を組織する予定